

(目的)

第1条 本奨励賞は故島藺安雄先生の御功績を称え、先生の生前の御遺志と御家族のお気持ちを尊重して、日本の若い精神医学徒の精神医学と精神医療における功績を顕彰し、さらなる向上発展を奨励することを目的とする。

(受賞対象)

第2条 本賞の受賞者は、該当年の前年12月1日から該当年11月30日までに原著論文を発表し精神医学に学術的に貢献した会員1名、および該当年までに精神医療の発展に貢献した会員1名（あるいは会員の所属する1団体）とする。

ただし、原著論文応募対象者は推薦時に年齢が40歳未満で、両賞とも受賞対象者は会員歴2年以上とする。

(受賞内容)

第3条 本賞の受賞者には総会において、賞状および副賞が授与され、また講演をしてもらうこととする。

(選考委員会について)

第4条 本賞の受賞者を選考するために奨励賞選考委員会を置く。

本委員会は理事が委員総数の3分の1を超えないこととする。委員の任期は2年とし、再任を妨げない。なお、委員長は委員の互選によって決定する。

(受賞者選考)

第5条 選考委員会は本学会会員から受賞候補者の推薦を募る。

第6条 委員長は選考結果を理事会にはかり、受賞者を決定する。

1999年1月16日制定

2000年11月18日一部追加・変更

2007年11月17日一部追加・変更

2013年9月21日一部追加・変更

2014年9月20日一部追加・変更

2018年11月17日一部追加・変更

2019年9月21日一部追加・変更

2020年9月19日一部追加・変更

2021年3月19日一部追加・変更

2022年7月16日一部追加・変更

2023年5月20日一部追加・変更

申し合わせ事項

1. 学会誌に推薦募集を告知する。
2. 被推薦者はその推薦者にはなれない（自薦はできない）。選考委員は本賞の推薦者にはなれない。
3. 推薦の際に会員は、(1) 推薦書および推薦理由、(2) 受賞候補者の履歴書、および(3) 参考となる資料（業績目録、書籍、映像など）をそろえて選考委員会に提出する。

4. 精神医学奨励賞については、以下の項目について評価を行う：科学的先駆性と独自性、学問的貢献度と波及効果、候補者の研究活動の継続性と発展性、他の観点も加味した総合的意義。
5. 精神医療奨励賞については、以下の項目について評価を行う：臨床的先駆性と独自性（当事者・医療従事者・地域医療への貢献、アンメットニーズへの対応、新しい技術の活用、など）、活動の継続性と発展性、医療への貢献度と社会への波及効果、他の観点も加味した総合的意義。
6. 精神医学奨励賞については、原則として国内で個人が主体的に行った研究を評価し、原著論文の筆頭著者を対象とする。
7. 精神医療奨励賞の受賞候補の推薦にあたっては、受賞対象が個人か団体かを明瞭に記載するように求める。精神医療奨励賞に団体を推薦する場合、その団体に所属する会員は推薦者にはなれない。
8. 受賞者への連絡は選考委員長がおこなう。
9. 副賞は10万円相当のものとする。
10. 当該年度に受賞しなかった医療奨励賞候補者・団体については、次年度以降も再推薦することができる。
11. 医学奨励賞の受賞対象論文は、受理されたうえでの最初の公式な公開が前年12月1日から該当年11月30日のものとする。公開は、電子媒体や冊子媒体などその形態は問わない。